

楽しく歴史・文化を探訪する会
島根半島四十二浦巡り（第1回）

会長 土山 幸延

楽しく歴史・文化を探訪する会では、年間3～4回の活動を基本A,B,Cの3班が順繰り担当して実施しています。今回は、島根半島四十二浦巡りをB班が主となって計画し実施しました。

令和4年9月27日、朝9時30分、鹿島町の佐太神社駐車場に集合し、ガイドを務めていただいた御津神社の岸宮司さんから現地講座を受け、マイクロバスで出発。



最初の訪問先は大芦大埼川辺神社。



次は御津神社です。



お昼は、鹿島町の多久の湯で美味しいお弁当。



午後は、途中、島根原子力発電所を車窓に見て。



最初は片句八幡宮。



そして、手結津上神社。



次は、恵曇神社（川邊社）



次は、古浦天満宮。



岸宮司さんの軽快なガイドにあっという間に佐太神社に帰りました。



それぞれの神社は昔は氏神様であり、地域の生活と深く結びついていた。祭神を定めないと神社として認められなくなったという歴史があった。

この浦巡りの起源は、「雲州四十二浦之詠歌」にはイザナギノミコトとイザナミノミコトの黄泉の国神話にちなんで始まったとあります。

これからも、島根半島を巡り、神話の舞台を体感したいと思っています。

(古瀬修一さん作)

浦巡り
歳重の入り江
風光る

